科目区分	専門分野	単位数・時間数	2単位・90時間	開講時期	2年・　後期
授業科目名	基礎看護学実習			授業形態	臨地実習
担当教員	武森　勢津子		実務経験	○看護師	
授業概要	看護の対象を理解し、看護の基盤となる知識・技術・態度を習得する。また、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。看護過程の思考がわかる。				
学習目的	1．看護の対象を総合的に理解する能力を養う 2．看護を展開するための基礎的能力を養う				
到達目標	1．対象理解をするための適切なコミュニケーションを図ることができる。 2．看護過程の展開を通して、問題解決思考の基本が理解できる。 3．到達レベルに基づいて、看護技術が安全安楽に実施できる。				
授業内容	1．対象理解をするための適切なコミュニケーションを図ることができる。 1）対象と積極的にコミュニケーションを図る。 2）コミュニケーションから看護に必要な情報収集を行う。 3）関心をもって対象の話を聴く。 2．看護過程の展開を通して、問題解決思考の基本が理解できる。 1）アセスメントを行う。 2）看護診断を付ける。 3）計画立案ができる。 3．対象に応じた援助ができる。 1）対象の状態に応じた安全・安楽な援助が実施する。 2）実施前・中・後の対象の状態の観察を行う。 3）援助後のフィードバックを行う。 4．看護の評価が理解できる。 1）指導を受けながら、目標の達成度の評価を行う。 2）指導を受けながら、評価による目標および計画の変更修正を行う。 5．到達レベルに基づいて看護技術が安全・安楽に実施できる。 1）看護技術の到達度に沿って、積極的に看護技術を行う。 2）対象の状態をアセスメントしながら安全・安楽に看護技術を実施する。 実習期間：１２日間 実習時間：８：００～１５：３０ 実習展開については実習要項参照				
評価方法	基礎看護学実習の評価基準に従い、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後までの学習状況から学生・教員（臨地実習鵜指導者所見）で評価を行い総合評価がC以上で合格とする。				
教科書	基礎看護学講座１　基礎看護学概論（医学書院） 系統看護学講座２　基礎看護学２　基礎看護技術Ⅰ（医学書院） 系統看護学講座２基礎看護学４　臨床看護総論（医学書院） 看護技術プラクティクス（学研）				
備考					